

<その他、取組に特徴のある事例>

○景観整備の推進

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>めなしぐんらうすちよう</small> 目梨郡 <small>みねはまちく</small> 羅臼町 <small>峯浜地区</small>			
協定面積 621.2ha	田	畑	草地(100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 931万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (52%)	集落担当者活動に対する経費		2%
		農業生産活動等に対する経費		8%
		農業生産活動等の体制整備に対する経費		0%
	その他(ワクチン接種啓発と助成)		42%	
協定参加者	農業者 10人、標津町農業協同組合(構成員11人)		開始:平成12年度	

2. 取組に至る経緯

当集落は、現在10戸の農家が酪農を営んでいるが、ここ数年離農者が相次ぎ、平成21年度新規に1戸就農したものの農家戸数は減少しており、このような状況が今後も進むと生産力の衰退や地域活力の低下が懸念されるため、今後も更なる新規就農者の受け入れを課題とし、その受け入れに対しては農協やその他の関係機関と協議をしながら取り組んでいる状況にある。

このような状況の中、集落として資源循環型農業を目指すため、センター方式による家畜ふん尿処理施設を整備し経費の節減を図るとともに、経営環境及び草生環境の整備、拡充及び農用地の集積等により、有効な土地利用と農作業の効率化、地域農業の新たな担い手の育成、確保が円滑に行われる体制作り等の再整備を積極的に推進し、小規模ながら自立できる集落を目指している。

3. 取組の内容

資源循環型酪農を目指すための堆肥センターが平成17年度より稼働し、家畜排せつ物の処理及び利用の促進を図っているところであり、今後も一層の経費の節減及び労働力の軽減を図ることを目指す。また、集落周辺には3本の河川があるが、いずれも崖地に面しており、河川周辺の植樹が困難なため、農地に隣接している総合運動公園にエゾマツを植樹し環境整備を行っている。



【農道の草刈り風景】



【総合運動公園のエゾマツ植樹】

[集落の将来像]

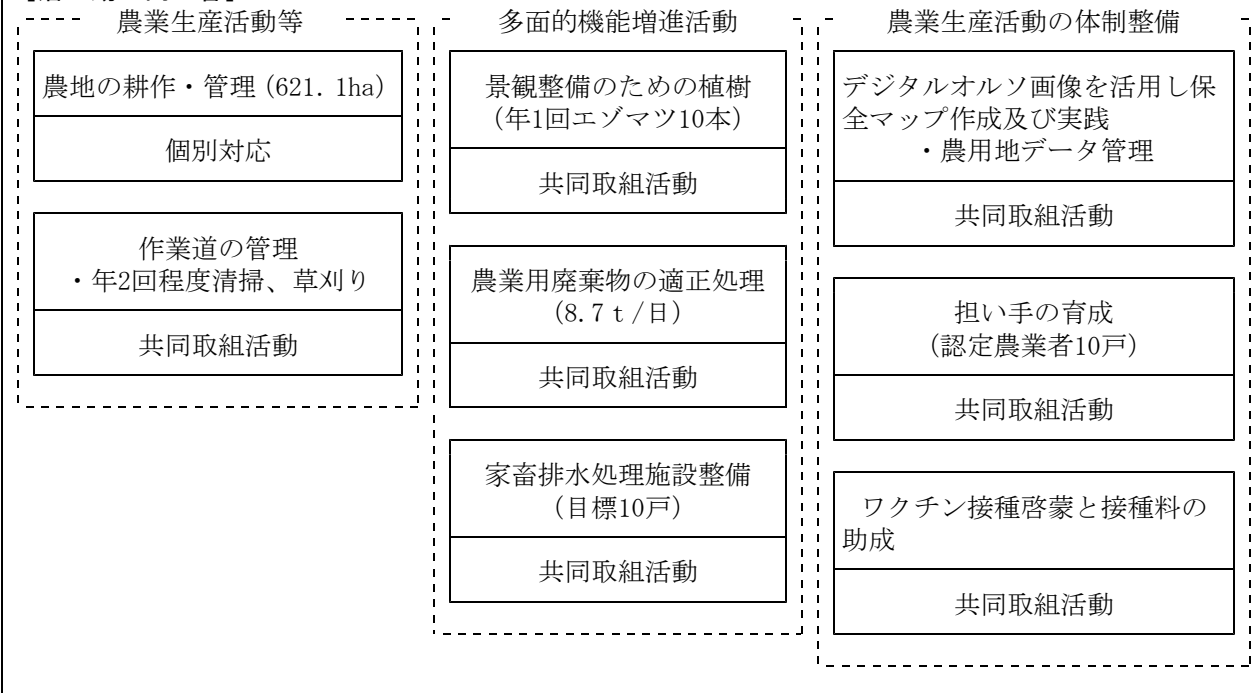
当集落は、安価で良質な生乳生産を目指し、地域と協調したクリーン酪農を進めるため、家畜糞尿に地域の生活ゴミ同時に処理するセンター方式による堆肥化を推進している。センター方式により経費の節減、労働力の軽減を図り、経営環境及び草生環境の整備、拡充及び農用地の集積等により、有効な土地利用と農作業の効率化を図り、地域農業の新たな担い手育成、確保が円滑に行われる体制作りを積極的に推進し、自立できる体制整備を目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

- 安定的・持続的に農業生産活動を維持し得る体制の構築
- 生産性や収益の向上のための農用地集積
- 「安全・安心」な生乳生産体制の整備
- 農業環境規範を遵守した生産活動の実施

[活動内容]



4. 今後の課題等

堆肥センターが稼働してから、糞尿処理、堆肥利用については順調に推移している。しかしながら、酪農家の離農により糞尿の処理量、堆肥の生産量が減少している。また、高齢化が進む中、耕作放棄地の発生が懸念されることから地域の特性にあった支援体制づくりが必要であり、今後、後継者の育成・確保が課題である。

[平成21年度までの主な成果]

- ・牛5種混合不活性ワクチンの全頭接種 (目標633頭 H21実績749頭)
- ・バルク乳自記記録計の全戸設置 (目標10戸、H21実施10戸)
- ・草地整備 (目標45ha、H21実績103.74ha)
- ・草地造成 (目標4ha、H21実績9.9ha)